

## 令和2年度 第2回射水市食育推進会議 会議録

日 時 令和2年11月5日（木）午後1時15分から2時10分

場 所 射水市大島分庁舎3階大会議室

出席者 射水市食育推進会議委員〔7名 尾山委員欠席〕

木田会長、亀谷副会長、稲垣委員、尾上委員、犀藤委員、城岡委員、松浦委員  
射水市食育推進会議幹事会〔11名〕

小見福祉保健部長、久々江保健福祉部次長、京角市民生活部副参事・環境課長  
盛光政策推進課長、小川生活安全課係長、明保険年金課長、北子育て支援課長、  
轟保健センター所長、久々江港湾観光課長、安元農林水産課長補佐、中川学校教育課長  
事務局〔5名〕

宮本保健センター所長補佐、坂本係長、山口主査、中山主任、高原主任

-----  
(午後1時15分開会)

### 1 開 会 （司会：轟保健センター所長）

### 2 会長あいさつ

【木田会長】

コロナ禍ということで、外食が減って家で食べるなど食生活において影響があります。そういう中で、皆で食事を楽しんで食べていくことを推進する食育推進計画の方針は、コロナの中にあっても間違いではないのではないかと思います。

本日は第3次射水市食育推進計画の素案の協議ということで、委員の皆さまの忌憚のないご意見をお願いいたします。特に食育推進計画は分野が多岐にわたっており、専門の団体の委員の皆さまのご意見が反映されることが大切とっておりますので、ご協力をお願いいたします。

### 3 議 事

#### (1) 第3次射水市食育推進計画（素案）について（資料1・資料2）説明

#### 意見交換、質疑応答

【会長】

確認ですが、コロナの状況下でコロナに関して影響を受けることはないですか。例えば共食についてこのままの記述でいいのかとか。また、すこやか教室は今年中止になりました。来年も中止になるかもしれません。このままだと集まって何かをやることに影響があるとは思いますが、計画は計画として作成するので良いですか。

【事務局】

共食に関しては16ページの現状と課題の(5)一緒に食べる共食の項目で「感染対策を行い、会話を楽しみながら食事をする」と表示していますが、コロナ対策に関しては控えめに表現しています。

【会長】

多分コロナという言葉は入れないほうがいいのかと思います。なぜならこれは5年間の計画なので、2年ほどはコロナの影響を受けるかもしれないけれど、多分その次の年からは普通の感じになるのではないかと思います。でも感染対策という言葉を入れるのは良いと思います。

あと 26 ページ③ 2 人以上で食事を食べることの推進で、「家族や友人等 2 人以上で」という友人とはどのようなことをイメージしていますか。

**【事務局】**

家族だけではなく、地域で食べる場合もあります。今は集まって食べることはできないですが、ひとりで食べない、孤食をしないことを意識しています。

**【会長】**

ここは家族が中心で良いのかと思います。でも今はコロナのことで外食が減って家で食べるが増えたことで虐待が増えたということもあるので、共食ということについても丁寧に扱わなければいけない時代ですね。

学校の方で、朝食を食べているかだけではなく、朝食で赤黄緑を食べている児童生徒の割合とか、偏食せずに栄養バランスを考えて食べる児童生徒の割合などいろいろな取組みがありますが、学校保健会に行くと子供たちがスライドをつくってみんなに赤黄緑の食材を食べましょうということで保健委員会が発表をやってますね。

**【城岡委員】**

これから冬に向けて全国給食週間もありますし、学校では集会がそろそろ解禁になりますので、そういった取組みも始まります。

**【稲垣委員】**

今年は集会がなく委員会発表できなかったが、テレビ放送など使って朝ご飯などは呼びかけたりしています。

**【会長】**

いみず野農協さんではどうでしょうか。

**【犀藤委員】**

今年は全然行事ができず、子どもたちのチャレンジ農業もできず、体験ができなくてかわいそうだということで、青年部長の好意で 11 月 28 日に畑でブロッコリーを収穫して、それをつかった料理を作って子供たちに提供しようと考えています。

**【会長】**

多分来年度も似たような状況になるかと思います。皆さん知恵を出し合って何らかの形で行事をやろうとしているので、工夫ですね。

では、コロナにはあまり触れることはないけれども、感染症には意識しながら取り組んでいきたいと思いますということと、あと全体的に気付いたことはないでしょうか。

10 ページの下の 2 行「健康寿命を延ばすには、生活習慣病の発症・重症化を予防し、高齢者の低栄養状態を改善することが重要」これは医学界の間でも問題になっているし、地域福祉課でも 75 歳以上の低栄養に関して取組みを始めたということですね

**【小見部長】**

そうですね。フレイル予防に取り組んでいます。

## 【会長】

フレイルの予防で低栄養に関してということですね。フレイルというのは身体的なフレイル、社会的なフレイルなどありますが、食生活が弱ると高齢者の方の孤立などいろんな形で問題が増えるということがあります。

12 ページのグラフ、母と子の朝食摂取状況の関連は前にも言いましたが画期的な話だと思います。乳幼児健診の時に両親が朝食を欠食しているか毎日食べているか。逆に乳幼児健診の時に行政から親に朝食の情報を与える機会にもなりますよねと以前話した気がします。

## 【城岡委員】

1 ページの計画策定の背景で、今回は国連サミットで採択された持続可能な開発目標の関わりを入れたところが、3次計画の改定の上で今の社会を反映していて大変良いなと思って見させていただきました。教育界でも総合的な学習などで持続可能な社会を目指していくという視点も大切だねと話していたところでした。

あわせて2 ページ目の最後の段落ではこの持続可能な開発へ貢献が可能である内容に呼応して食育推進の視点が書かれている点もわかりやすく、良いと感じました。

## 【尾上委員】

第6章の計画の推進方法で、家庭の役割、保育園の役割などの末尾が「努めましょう」となっていますが「努めましょう」はあいまいな言葉だと思います。行政用語だと「努力します」などが入りますがどうでしょうか。なぜかと申しますと、地域振興会では各地域で食生活改善推進員の方と料理教室などやることがあります。以前は多くの方が集まりましたが、近年は人数が集まりません。少数の人にこのような計画を推進するのは難しいのではないかなど。その中で「努めましょう」という柔らかい言葉だと皆さん食育に努力しないので、少し強めの言葉がよいのではないかと思います。「努力しましょう」など皆さんが自覚できるような言葉にした方がよいと思います。

## 【事務局】

現在は少しソフトな言い方になっているので、もう少し強めの言葉になるよう内部で調整させていただきます。

## 【会長】

事務局におまかせします。あまりきつくはならないように。

4、5、6 ページに写真を入れたのは、子供たちや皆さんが活動されている様子が分かり意味があってよいと思います。

コロナの時代になり食事というものは大事な、毎日の楽しみの一つとして大切なものだな等、良い意味での見直しもあると思いますし、Go to Eat が始まるとすごい勢いで外食が増えたり振れ幅があります。安くなるからと豪華な食事もいいけどバランスよく食べてほしいです。

では、大体意見は出たと思います。文言を少し変えるなどありますが、大筋ではまともについていいと思います。細かい部分は事務局で知恵を出して変えていただくということでもよろしいでしょうか。

## (2) 今後の策定スケジュール（案）について（資料3）説明

### 【会長】

その他、食育に関連して質問はないでしょうか。

先ほど言い忘れましたが 31 ページ、ライフステージに応じた食育実践のヒントの表を新しく作ったのですが、やはりライフステージに応じたということが最近キーワードになってきています。疾病に関してもライフステージに応じた対応が大切になっています。要するにライフステージに共通する部分もあるが違うということがあります。例えばメタボリックシンドロームの流れで行くと、乳幼児期に太って脂肪細胞が増えると学童期で肥満になったときに痩せるのが難しい。その時の肥満が青年期、壮年期にひびいてきている。長い目で見ると学童期で高脂血症になると壮年期の早い時期に動脈硬化が起き、それが進むと脳血管をやられて寝たきりになる等の流れがある。

身体能力では赤ちゃんにハイハイをさせないと体幹部が弱くなる。すると学童期で運動機能が落ちてくる、壮年期で運動不足になる、筋力が弱いままで高齢期になるとフレイルになる、という感じで一つずつ流れがある。メタボリックというラインと運動機能というラインで流れがあり、その中で疾患はどうかということを考えていく。そういう風に医学会もライフステージという水平割りと疾患や病態別という縦割り、網の目のような形の考え方があります。だから行政としてこういうものを作る時にライフステージという横ラインと国からの縦ライン両方向で考えていき、実際に現場では地道に目の前のことを一つ一つやるという流れの、すごく大切な骨組みとなる推進計画のような気がします。そういう意味ではすごくまとまっていると思います。

## 4 その他

### 【事務局】

第3回の食育推進会議は令和3年2月18日木曜日。計画案について協議の予定。

## 5 閉 会

(午後2時10分閉会)